

平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)

<b>事業名</b>	基幹的広域防災拠点における広域輸送訓練に必要な経費		<b>担当部局</b>	港湾局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成20年度		<b>担当課室</b>	海岸・防災課		海岸・防災課長 丸山 隆英		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>上位政策</b>	20 海上物流基盤の強化等総合的な物流体系整備の推進、みなとの振興、安定的な国際海上輸送の確保の推進				
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	港湾法第55条の3の2第1項		<b>関係する計画、通知等</b>	首都直下地震対策大綱 首都直下地震応急対策活動要領				
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	大規模災害発生時に、臨海部における基幹的広域防災拠点が大都市圏における物流コントロール機能を担い、緊急物資等の輸送を迅速かつ円滑に実施できるように、広域輸送訓練を実施する。							
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	首都直下地震等の大規模災害時に基幹的広域防災拠点における緊急物資や復旧資機材の輸送機能を維持し、被災地の早期復旧・復興を実現するためには、発災直後に対応すべき応急復旧工事が円滑に行われるよう組織の運用体制強化のほか、国の関係機関、港湾管理者、海運事業者、港湾運送事業者等との連携体制の強化が不可欠である。このため、基幹的広域防災拠点において、実災害を想定した総合的な広域輸送訓練を実施する。							
<b>実施方法</b>	直接実施	業務委託等	補助	貸付	その他			
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)	予算の状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		当初予算	39	31	23	21	27	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
	計	39	31	23	21			
	執行額	39	28	22				
執行率(%)	100	92	99					
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)	
	成果実績	回						
	達成度	%						
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	2回の訓練を実施した		活動実績(当初見込み)	回	2	2	2	(2)
<b>単位当たりコスト</b>	11百万 (円/回)		算出根拠	執行額と年度ごとの実施回数で算出				
<b>平成23・24年度予算内訳</b>	<b>費目</b>	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	緊急物資輸送(荷捌き・搬出)訓練	0	10	平成24年度より、現在の川崎港東扇島地区に加え、堺泉北港堺2区の施設も供用するため				
	資機材展開・輸送訓練経費	4	8					
	訓練会場等整備費	6	9					
	物資取扱能力検証訓練	11	0					
計	21	27						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・関東地方整備局自らが企画・立案、業務発注、関係機関との調整等を行い、訓練を実施していることから、支出先、使途、事業の実施状況は十分に把握できている。また、本省においては、関東地方整備局からの報告を以て予算の執行状況の管理を行うとともに、訓練への参加等により、事業の実施状況を十分に把握している。</p> <p>【前回の指摘を踏まえた執行上の改善点】 平成23年度は3年毎のローテーションで行う訓練の一巡目に当たるため、平成20年度と同程度の規模の訓練を計画していた。一方で毎年行う資機材展開・輸送訓練などの基本訓練については輸送する重機の組み合わせ、台数の見直しによりオペレータ及び作業員の人員を削減し、訓練経費の縮減が図られた。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善		事業実施の効率化の観点から、訓練の内容や規模の見直しにより、コスト縮減を図るべき。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
3年毎のローテーションで行う訓練については、規模や内容の大幅な見直しにより、訓練経費の縮減を図った。また、毎年行う資機材展開・輸送訓練などの基本訓練については、輸送する重機の組み合わせ、台数の見直しにより、訓練経費の縮減を図った。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

国土交通省  
22百万円

川崎港東扇島地区基幹的広域防災拠点における広域輸送訓練に係る予算の執行管理を行うとともに、訓練への参加、関係機関との調整等を行っている。

A. 関東地方整備局  
22百万円

川崎港東扇島地区基幹的広域防災拠点における広域輸送訓練の企画・立案、関係機関との調整等を行い、民間事業者へ訓練の実施にあたって必要な業務発注を行っている。

【一般競争、随意契約】

B. 民間事業者等(4社)  
22百万円

川崎港東扇島地区基幹的広域防災拠点における広域輸送訓練の実施支援、訓練会場の設営等を行う。

A.関東地方整備局			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
総合的物流体系整備推進調査費	川崎港東扇島地区基幹的広域防災拠点における広域輸送訓練の実施に関する業務発注	22			
計		22	計		0
B.(社)日本埋立浚渫協会			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
総合的物流体系整備推進調査費	川崎港東扇島地区基幹的広域防災拠点における広域輸送訓練の実施支援	22			
計		22	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.民間事業者等

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社)日本埋立浚渫協会	基幹的広域防災拠点における広域輸送訓練の実施支援	17	1	99
2	コーエイ(株)	基幹的広域防災拠点における広域輸送訓練の訓練会場等整備	3	1	62
3	(株)創環	基幹的広域防災拠点における広域輸送訓練の訓練会場等整備	2	4	41
4	(有)エイチ・エス・リンク	基幹的広域防災拠点における広域輸送訓練の訓練会場等整備	0	3	72
5					
6					
7					
8					
9					
10					